



きっずるーむだよ!

第 44 号
令和 6 年 6 月 10 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずるーむ県庁別館



6月は梅雨の季節です。雨というと憂鬱な気持ちになるかもしれませんが子ども達はというと、雨で使う道具が大好き!雨が降っていなくても長靴を履きたがる子もいます。傘をさして雨が降るのを楽しみにしている子もいます。

「良い天気」とは、晴れている時に使いがちですが、農家の人にとっては日照りも雨も必要です。どんな天気も必要な自然の現象ですね。
雨の日は雨ならではの遊びを楽しむ子ども達の姿をお伝えしていきたいと思います。

絵の具遊び

雨の日、室内で絵の具遊びをしました。

赤・青・黄色の絵の具をチューブからパレットに出します。「見ていてね」と言うのでジッと見つめて待つ2歳7ヶ月のA君は、指で絵の具を混ぜる時に抵抗がある様子で何度も手拭きで絵の具を拭き取りました。

そこで、筆を使い描くと積極的に色を混ぜはじめ黄色の上に赤色を混ぜて「あ!黄色がどこかに行っちゃった!」と不思議そうに描いた色を見つめていました。

その後も、色を混ぜてみたり筆を立ててちょんちょんと点々を描き十分に絵の具遊びを楽しみました。



子どもが夢中になる時

色が変わったら事を実感したA君は、自分で筆を使い色を選び混ぜるという事を何度も何度も繰り返していました。

この時期の子どもが集中して繰り返す遊びは、その時期に必要な経験です。褒められるからするのでは無く、自らの探求心が育つ興味への扉です。その瞬間に出会える事を嬉しく思います。



きっずるーむのお片付け

きっずるーむではおもちゃの棚に写真を貼り、どこに何を片付けるかを分かりやすくしました。

写真に気が付いた子は「あ、ここだ」「同じところ」

と言って写真と同じ場所へ戻してお片付けをしています。

分かりやすくする事で子ども達の【自分でしようとする気持ち】を応援しています。

